

岩手県一戸町「道の駅」設置に関するサウンディング型市場調査
ヒアリング実施概要

1 ヒアリング参加数 4団体

2 ヒアリング概要

(1) 本事業への参加の意向について

- ・ 1 団体：参加を希望する
- ・ 3 団体：参加に興味がある（条件がそろえば参加したい）

(2) 整備及び運営方式について

① DBO 方式の利点について

主な発言

- ・ 運営事業者の意見の反映ができる。
- ・ 日々の運営やイベントを想定し、効率的な設計が可能となる。
- ・ 実勢単価によるコストバランス調整が行える。
- ・ 維持管理を見越した設計が可能となり、コスト削減効果が高い。
- ・ 設計・建設・運営を一括により従来方式によりコスト削減できることが利点。

② DBO 方式の懸念点について

主な発言

- ・ 予算確定や提案時期が早まることにより、物価変動（建設関係、人件費）や提案時の想定が流行を過ぎたものになることがある。
- ・ 技術提案時に価格優先になると、建物品質が下がる傾向にある。
- ・ 施設整備年度の支出が大きい。
- ・ PFI 方法と比較し民間事業者の制約や負担が大きいことが懸念される。
- ・ DBO 方式の場合、運営会社と建設会社のグループ組成が課題。

③ DBO 方式での参加が困難な場合の希望する事業手法について

主な発言

- ・ 指定管理者制度
- ・ BT、BTO 方式

(3) 基本設計の内容（導入機能、施設配置及び規模など）について

① 基本設計の内容での運営課題について

主な発言

- ・基本設計の内容で実施設計を行うにはコスト削減できる範囲が限られてしまう。
- ・造成工事の費用が大きいため、工事範囲等の区別が必要である。

② 道の駅における飲食・物販事業のほか、収益向上につながる提案について

主な発言

- ・定期的なイベントの開催。
- ・自動販売機の設置。
- ・御所野遺跡を活用した体験型イベントの実施。
- ・深夜でも利用可能な食品自動販売機の設置。

③ 道の駅を活用した地域振興策について

主な発言

- ・道の駅を核とした周遊プラン、スタンプラリー。
- ・御所野遺跡を活用した体験型イベント。
- ・家族で参加できるようなお祭り開催。
- ・御所野縄文博物館入館割引チケットの発行

(4) 施設整備及び管理運営に当たり投資を回収する期間や初期投資の意向について

① 施設整備及び管理運営に当たり投資を回収する期間

10～20 年程度

② 施設整備に当たり初期投資をする意向について

主な発言

- ・BTO方式での整備の場合、初期投資の可能性がある。
- ・初期投資を検討していない。

(5) 管理運営する上での費用について

主な発言

- ・来客想定及び交通量等の調査をしなければ算出できない。
- ・どのような運営になるかにより試算額が変わる。
- ・類似事業の実績に基づく概算で、4,400万円/年程度を見込む。

(6) 事業スキームについて

① 事業内容における事業者の事業範囲について

主な発言

- ・ 什器備品等調達設置業務は、運営事業者が選定することが望ましい。

- ② 飲食・物販等の収益施設については運営独立採算、その他の非収益施設の維持管理・運営費についてはサービス購入料の充当の方針について

主な発言

- ・ どちらともいえない。(2 団体)
- ・ その方針が良い。(1 団体)

- ③ 収益の町への還元方法について

主な発言

- ・ 利益の一定割合を納付 (1 団体)
- ・ 利益の一定割合を事業内へ再投資 (1 団体)
- ・ 固定納付金と変動納付金を納付 (1 団体)

- (7) その他について

- ① 道の駅事業に対してご提案やご意見について

主な発言

- ・ 地域の産直や地元との連携を行い、相乗効果が出せる施設にしたい。
- ・ 町として道の駅の運営方針や役割を明確にすることで事業者の事業展開方法が明確になる。
- ・ 町を代表する集客施設としたい。

- ② 本事業の実施に当たり課題や要望について

主な発言

- ・ 今後地域の農産物や特産品等を確認し検討したい。
- ・ 町民が道の駅に求める役割や機能の声を吸い上げることが重要な課題だと考える。
- ・ 関係機関協議等により基本設計の修正が必要になった場合は、修正に必要な期間を確保する必要がある。
- ・ 運営に関してどのように進めていくか検討が必要である。